

## 平成30年第12回田原市教育委員会定例会会議録

- 1 開会 平成30年12月21日 午後3時30分
- 2 閉会 平成30年12月21日 午後4時23分
- 3 会議に出席した委員  
金田真也教育長職務代理者、山本明子委員  
太田孝雄委員、天野千栄子委員
- 4 会議に欠席した委員  
花井隆教育長
- 5 会議に出席した職員  
教育部長 宮川裕之  
教育総務課長 伊藤英洋  
学校教育課長 杉田哲利  
生涯学習課長 森下 錬  
スポーツ課長 鈴木信宏  
博物館長 鈴木利昌  
文化財課長 増山禎之  
教育総務課課長補佐兼係長 小久保義則  
教育総務課主査 彦坂幸子
- 6 議事日程  
別紙のとおり

## 田原市教育委員会第12回定例会議事日程

日 時 平成30年12月21日（金）  
午後3時30分  
場 所 北庁舎3階 300会議室

- 1 会議録署名者の指名
  
- 2 教育長報告事項
  
- 3 報告事項
  - (1) 教育委員連絡報告事項
  - (2) 田原市議会第4回定例会一般質問について
  - (3) 田原市成人式について
  - (4) 第58回中部・第48回北陸実業団対抗駅伝競走大会の結果について
  - (5) 第13回愛知県市町村対抗駅伝競走大会の結果について
  - (6) 第67回渥美半島駅伝競走大会の開催について
  
- 4 その他

教育長職務代理者

開 会 午後 3 時 30 分

本日は、何かとご多用のところご出席くださりまして、ありがとうございます。

教育長から欠席の連絡がございましたので、報告します。

ただいまの出席者は 4 名であります。定足数に達していますので、平成 30 年田原市教育委員会第 12 回定例会は成立いたしました。

これより開会いたします。

それでは、会議規則第 13 条第 2 項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきます。

今回の署名者として、山本委員と太田委員のご両名を指名させていただきますので、よろしく願いいたします。

それでは、議題に先立ち教育長報告事項ですが、本日は教育長が欠席でありますので、お手元の資料でご確認ください。

なお、前回 11 月 8 日に行われた第 11 回定例会以降、本日の第 12 回定例会までの間に教育長が出席されていた行事が記載されていますので、後ほどご覧いただきたいと思っております。

次に、報告事項に入りたいと思っております。

では、教育委員の皆様との連絡報告事項を順次お願いいたします。

山本委員から、よろしく申し上げます。

山本委員

前回の教育委員会定例会を欠席しましたが、11 月 10 日に清田小学校の学芸会、17 日に中山小学校の学芸会に行かせていただきました。

清田小学校の学芸会では、ノーベル平和賞を受賞した「マララのまほうのえんぴつ」といって、マララがすごく苦勞をして、女子学生が勉強することを国から迫害されて、本当に命を失いかけるところまでいったところを、3 人くらいで交代で演じて、また 6 年生全員が出て演じました。本当に最後すごく感動的な劇を見させていただきました。

もう 1 校は、中山小学校に行かせていただきました。こちらは、私も途中で退席させていただいたものですから、行きましたという報告だけになってしまいますが、以上でございます。

教育長職務代理者

ありがとうございました。

続いて、太田委員、申し上げます。

太田委員

お願いいたします。

私も 2 校の学芸会に出席させていただきました。11 月 10 日に伊良湖岬小学校へ行かせていただきました。伊良湖岬小学校は、各学年、少ないところで 18 名、多いところで 34 名ということで、どの学年も劇を発表していたのですが、配役等、適当な人数で大変スムーズに演じておりました。私はどうしても指導者の立場から見ていくのですが、初

任者の方も見えたり、ベテランの方も見えたりするのですけれども、担任の知識、どうしても指導力の差があるのですけれども、その初任者の先生もベテランの先生が上手に支援をして、それほど学年によって指導力の差がなくやれていたのは、よかったのではないかとこのように思います。

それから、17日に童浦小学校の学芸会へ出席させていただきました。童浦小学校は市内で一番児童数が多い学校ですので、半日日程でどのように子どもたちを活動させて、保護者、地域の方々に見ていただくかというのが、多分童浦小学校にとっては大きな工夫、努力のところではないかと思えます。

童浦は少ない学年でも68名で、多いところは84名ということで、それらが多くは劇、それからダンスや音楽もありましたけれども、劇の場合は、他の学校でもそうですが、複数のキャスト。童浦の場合は3から4くらいの複数キャストで、それもグループをつかってやってみえました。劇などの場合は、人数が多いと劇に出ない子たちの管理が大変だと思うのですが、フロアにひな壇をつくりまして、そこで子どもたちが、時には歌を歌うこともあるのですけれども、そこで待機をするということをしていました。観客から見られていると、どうしても子どもたちは緊張感を保つことができますので、そのような工夫をしたり、最後にどの学年もカーテンコールなどをやったり、いろいろ工夫の跡が見えました。

校長先生とお話をする中で、予行で他の学年の演技を見るので、当日は、他の学年は教室等の別の場所で待機するのですが、その待機をしている児童への対応も教職員がしなくてはいけないものですから、それもかなり大変だということに見えました。当然保護者の数も多いわけですが、入れ替えは大変スムーズに、昼過ぎくらいには終わっております。最後の6年生は、45分くらいの戦時中の疎開で、人々の生き方や思いやりについてやった、大変な大作に挑戦していたのもすばらしいなということに思いました。

それから、12月に入りまして、8日に田原市PTA連絡協議会の教育講演会に参加させていただきました。尾川智子さんの講演ということで、以前学校に勤めていたころ、生徒にお話をさせていただいたのですけれども、今回は保護者、教師が対象ということで、ビデオを使ったり、子どもの体力づくりという観点でお話をされていて、やはり場数を踏んでいくと、お話も以前に比べるととても上手になったなということに思いました。

それから、今週火曜日に校長会の歓送迎会へ行かせていただきました。なかなか校長先生とひざを交えて話をする機会はないものですから、全員と話ができたわけではないのですけれども、とても有意義な、中には校長先生の本音的なものもお話されたり、多分校長先生は苦し

教育長職務代理者

天野委員

いかもわかりませんが、我々にとっては、とても有意義な会になったと思います。

以上です。

ありがとうございます。

続いて、天野委員、お願いいたします。

私も2校の学芸会に参加させていただきました。

まず1校目は、地元の母校の学芸会、福江小学校に伺いました。下の娘が卒業して以来ですので、4年ぶりということで、とても楽しみにしていたのですけれども、やはり児童数がとても少なくなっておりまして、各学年ほとんど1クラスということを知りました。今年から保護者席の前の方に、発表学年優先席というのが設けられておりまして、発表学年の家族や親戚が優先して座ることができまして、演技が終了するごとに幕間で入れかわりを行って行っていました。初めての試みだそうなのですが、割とスムーズに入れかわりも行われていて、いいなと思いました。

二つ目は、田原中部小学校に伺いました。こちらもまた違って、一般の保護者席の前の方が、今度は敬老席になっていて、おじいさん、おばあさんたちが楽しまれているのがいいなと思いました。

校長先生のお話で、合唱に力を入れていらっしゃるということを伺いまして、合唱部の発表は本当に小学生レベルではないなというくらい感動いたしました。金田委員からお勧めいただいた崋山劇をとても楽しみにしていたのですけれども、崋山先生の役が結構厳しいオーディションがあつて、校長先生のお話だと、低学年のころからあこがれの役で、それもとても歴史を感じました。昭和10年が初演で、ずっと毎年やられているということで、すごいなと思ったのですけれども、その初演のときの崋山先生役を演じられた方が、午後からおみえになっていました。やはり午後の部の板橋の別れのところなどは、とても感動されていらっしゃるようで、校長先生のお話からも、すごく歴史を感じられる学芸会でした。

それから、12月に入りまして、ほかの教育委員の方々と一緒に田原市PTA連絡協議会の教育講演会に参加させていただきました。昨年は立場が逆で、PTAとして来賓の方々をお迎えする役だったものですから、まさか1年後、自分が迎えられる側になるとは思っていませんでした。講演してくださったフリークライマーの尾川さんのお話は、映像も迫力があつて、本当に引きつけるお話で、あっという間の1時間半でした。

それから、今週火曜日に田原市の小中学校の校長先生方が歓迎会をしてくださいます。田原市24校の校長先生が全員並ばれる中での挨拶はとても緊張いたしました。声が上ずってしまったのですけれども、初めましての先生から、うちの子どもたちがお世話になった先生まで、

教育長職務代理者

入れかわり立ちかわり席に来てくださいますて、いろいろなお話を伺うことができました。

報告は以上なのですが、私ごとのご報告で、先月21日に東京まで行きまして、ホテルニューオータニで、日本PTA創立70周年の記念式典に愛知県PTAの仲間たちと行ってまいりました。全国から1,000名を超える表彰者の方が集まっていたのも本当に圧倒されたのですが、平成最後で70周年という節目の年だったものですから、皇太子様と雅子様がおみえになりまして、SPの方からおつきの方まで、本当に警備が厳重ですごいなと思いました。ラッキーなことに私の席は、表彰の項目ごとに100名から150名くらいのブロックに分かれるのですが、入場のときからひな壇に上がられているところまでずっと表情まで見える席で、お言葉をいただく間も表彰の間も、ずっと心が洗われるような笑顔でお二方がおみえになりまして、本当に1年半、毎月名古屋まで通った苦労も報われた気がしました。生涯学習課様には大変お世話になりまして、これでPTAが終了いたしましたので、今後はこちらの教育委員に集中させていただきます。よろしく願いいたします。長々とすみませんでした。ありがとうございました。

ありがとうございました。

最後に、僕から報告させていただきます。

まず僕も2校行かせてもらって、1校目は田原東部小学校の学芸会。生徒301名、各学年2クラスあるということで、学芸会をやるに当たっても先生が1学年2人いるということで、分担し合って仕事ができるということで、とても助かる。ベテランの先生とそうでない先生がいるということで、指導しながらいろいろ教えながらできるということで、その辺は喜んでいました。

あと、今年から昼食をとらずに午前中だけで終了するということ、午前中だけの学芸会になっていたようです。緊張して台詞を忘れたり、落ち着きがなかったり、いろいろな子がいる中、児童による、「仲間とつくろう最高の演技で感動を」というテーマのように、子どもたちや先生方が支え合って上手にやっているなという、そのような学芸会でした。

2校目は泉小学校の学芸会でした。こちらは全校153名なのですが、6年生が39名で全校の4分の1以上を占めていて、5年生以下からぐっと減っている学年です。低学年はとにかく元気がよくて、高学年はまとまりのある劇を見せてくれました。特に6年生は、ディズニーの美女と野獣、歌を交えたミュージカルで、45分の超大作なのですが、時間の長さを感じさせないすばらしい出来で、とても感動しました。

また、音楽部の金管合奏を聞かせてもらったのですが、6年

生は音楽部と運動部に分かれていて、5年生以下からはそういったことができないということで、音楽も運動も全部やるということで、そのような中、変わりかけた状態の中での金管合奏だったのですが、現状の金管楽器を吹くのを維持するために、とにかく先生が熱心にやっていたという印象を受けました。

あと、いろいろなことを校長先生とお話したのですけれども、下校時間を4時15分としたそうです。帰る時間を15分か10分短縮させたということなのですけれども、多忙化とかいうことではなくて、遠いところ、宇津江の人たちが4時半を回ってしまうと日没を迎えてしまうということで、保護者からの要請でそういう形にしたということを知りました。ただ、部活動の時間は減らしたくないということで、5時間目と6時間目の間に帰りの会をやるというか、そういった工夫をして、そのようにさせてもらったと言っていました。

あと、大分早く着き過ぎたので、少し校区をと思って夕陽が浜まで走ったときに、やはり江比間に入ったら歩道がなくなったり、また歩道ができたり、地元の人たちは慣れてしまっているのかもしれませんが、県外から来たり、伊良湖に行った人は、これはどうかなという感じがするのではないかと思います。

12月は、田原市小中学校PTA連絡協議会に出席したときに尾川智子さんの話を聞かせてもらって、自分の経験とともに努力を積み重ねることの大切さとか、それを続けることの難しさ、継続すること学びました。

あと、最初に教育長のお話の中で、これまでの学校の統合の経緯とか、これからの話、あとトイレやエアコンですかね。そういったことを説明されていたことはとても丁寧な対応だと思ったのと、あと福江中学校の制服についても話してくれていたことに対しては、やはり中学校の現場をやっている人にとっては、とても勇気づけられると思いました。

最後に、校長会に出席させていただきまして、相変わらず格式が高い席だなと思いながら、そうではないのかもしれないのですけれども、僕はそう感じて、いつも出席させていただいています。

あと、吉胡貝塚資料館のマッコナ縄文人を拝見させていただきました。

以上です。

それでは、次に、報告事項（2）田原市議会第4回定例会一般質問について、事務局から報告をお願いいたします。

それでは、私からお願いいたします。

それでは、今回12月議会ということで、平成30年の第4回定例会が開催されました。資料がお配りしてあると思います。

1ページから4ページ目まで、これが議案の関係になります。今回、

教育部長

議案の関係で、教育委員会は、条例の制定、改正等はございません。補正予算で、教育関係、いろいろ多くの予算が計上され、可決されましたので、そちらに早急に取り組んでまいります。

この報告事項にあります一般質問ですけれども、議案をめくっていただきますと、一般質問の一覧表があります。そこからもう少し、2枚めくっていただきますと、一般質問の概要がついていると思いますので、こちらで説明をさせていただきます。

今回は、全部で10人の方の一般質問がございました。私が答弁したものは、お一人だけ。あとは、ほかの部署というような流れでした。

まず1番の辻議員ですけれども、観光客の防災の関係。二つ目が、病児・病後児保育のご質問でした。特に二つ目の病児・病後児保育というのは、ずっと市も課題ということで捉えています。お子さんが病気になったときに仕事を休めない。そのときに、病気になっても預かってほしい。これが病児保育。病気が一段落して、回復期に向かうときに預かってもらいたいというのが病後児保育ということで、市の子育て支援課も、どこかできないかなというようなところで、渥美病院に問いかけたりしているのですけれども、子どもを診るお医者さんがなかなかいない。そこが非常にネックなところですが、まだほかにも何か方法はないかということで、近隣の自治体の状況とか、現地視察、実施場所の検討を継続して行っていますというお答えをしております。

2番の仲谷議員につきましては、農業関係の質問でした。

2ページにいらっしゃって、3番の岡本議員ですけれども、台風12号、24号の被害の関係で、特に停電のご質問でした。

三つ目、避難所の開設時期と停電対策について何うということですが、地震の場合は避難所が小学校、風水害の場合は市民館が避難所になっております。今回は台風の質問ということで、市民館についてお答えをさせていただきました。

その市民館の停電対策ですけれども、基本的に自家発電装置、投光器、懐中電灯、毛布等、こういった資機材は配備しています。

ただし、今回この補正予算で、新たに工事として取り組む事項があります。まず1点目が、市民館で窓ガラスに飛散防止フィルムが貼られていないところがありますので、その貼りつけ作業をやっていく。

もう1点ですけれども、今回停電になりましたので、自家発電装置があるのでありますが、音も大きいですし、危険もありますので、自家発電は室内ではできません。市民館の外で発電をしたときに、これを何とかケーブルで屋内に持ってこられないかということで、その工事を今回の補正予算で上げました。簡単に言いますと、屋外で発電機を稼働させて、その発電機で発生させた電気を屋内の分電盤に引き込みます。その分電盤から、事務室と休憩所、その辺の最低限の電気が確

保できるような工事を行うというものです。補正が通りまして、いつ災害が起きるかわかりませんので、これも早めの対応をしていきます。

ちなみに、その風水害の避難所ですけれども、市民館だけではなくて、崙山会館も避難所になっておりますので、市民館と崙山会館に、こういった工事をやっていきます。

続きまして、廣中議員から、病診連携と医療・介護連携。それともう一つが、受動喫煙防止対策の質問です。

3ページを見ていただきますと、受動喫煙のガイドラインについては、ほぼでき上がっております。基本的な考え方として、今、学校は敷地内が禁煙になっていきます。公共施設も、今、入り口などに喫煙所を設けている施設が幾つかあります。そういった屋外喫煙所をもう少し、特に妊婦や子どもへの影響を配慮して、移動させていこうではないかという、こういったガイドラインをつくっていきます。

特に私もずっと気になっていたのが、例えば田原の文化会館だと、体育館の入り口のすぐ横に喫煙所があります。あそこは子どもたちが出入りをします。市民館などでも、入り口の横に喫煙所を設けているところがたくさんあります。このガイドライン実施という段階になれば、そういったことも進めていきたいということです。今、国もこの辺は非常に注視しておりまして、幾つかの市では受動喫煙防止の条例を制定しているようなところがありますが、本市はガイドラインの制定で、まずは対応していこうというところで、この喫煙所の移動について補助金が出るかもしれないというところがありますので、その辺も視野に入れて、私ども教育関係のところも対応していこうと思います。

この答弁のところの一番下に、「既に喫煙所を撤去した施設もある」ということで、市民館の中で僕が知っているのは、福江市民館。あそこが敷地内禁煙に変えました。泉市民館も、入り口にあったのですけれども、喫煙できないようにしていました。そういったところで、市民館で独自にこういった対策を進めているところがあるというところをご承知ください。

河邊議員も、同じような台風の質問。こちらは停電というよりも、被害の補償の質問。それと、たはら農業プランについて、質問がございました。

4ページをお願いします。

これが今回、教育部に対する質問です。森下田嘉治議員からの質問です。

まず一つ目が、教員の多忙化解消プランの取組状況と現状を伺うというところで、現在やっている対策としては、教員に対する在校時間調査とか、まず聴き取りをやっていきます。各学校では、校務分掌の見直しとか、校務支援システムによる効率化、ノー残業デーの設定など、

こういったところを取り組んでいます。

過労死ラインといわれる80時間を超えた教員ですけれども、昨年6月の27%、109人から、今年の6月では18%、73人に減少しております。これ以降の調査を続けておりますので数字を申しますと、9月が10.5%、10月が9.3%、11月が5.5%という形で減ってきております。なかなかこういったところ、何が特効薬というのが難しいところですが、いろいろな取組みを進めながら、なるべく教員の多忙化解消に取り組んでいきたいというように考えております。

その中の再質問で議員から、授業だけではなくて、子どもとの関わりとか、家庭との連絡など削ることができない時間が多くて、多忙化解消には限界があることはわかっていると。なかなか難しいけれども、例えば休憩室のような、先生たちで、ほっと一息つくような場所はつくれないかというような質問がございました。現在休憩室や休憩スペースがあるのは、24校中11校でございます。なかなか校舎も目いっぱい使っているというところで大変ですけれども、学校とも相談しながら、どこか休憩スペースをつくれぬかということで検討していく、こういったお答えをさせていただきました。

森下議員の二つ目の質問が、児童生徒のランドセル等、携行品が非常に重たいと。私も中学生を見ていますと、すごく大きなリュックを背負って、ふらふらで自転車をこいでいる姿を見ます。実際にはかかってみますと、小学生で平均5.7キログラム、中学生では7から10キログラムということで、全国的なものなのですけれども、非常に重たくなっています。原因としましては、教科書のページ数が増えたこと、教科書が大きくなったこととか、2冊に分かれたものが合冊になったこと。こういったところが要因だと捉えております。市内の学校では、使用頻度の低い教科書は学校に置いていくというのは既にやっているのですけれども、今の状況から見ても、さらなる軽量化に取り組んでいかなければならないということで、学校と話をしながら工夫していこうというように考えております。

三つ目が、連携型中高一貫校の成果をどう捉えているかというものと、高校入試はどのようになりますかという質問がございました。

今、連携型中高一貫校を、伊良湖岬中学校、福江中学校、それと福江高校が取り組んでいるのですけれども、主にやっているのが、教員が相互に出向いて授業を行う交流授業、それと部活動の交流、行事での交流、こういったものを行っております。高校の教員や生徒、そして高校生活に直接に触れるということで、中学生は高校進学後の姿を描きながら、学習やさまざまな活動に取り組んでいるように捉えている、そういったところが成果として見られますという答弁をしております。

それと、連携型の入試ですけれども、この平成31年度入学生から、

学力検査というのはないのですけれども、「総合的な学習のまとめの提出」、それと「面接」、こういった試験を実施しますというようなことをお答えしました。

5ページを見ていただいて、再質問ですけれども、まず中高一貫校の今後の見通しはということで、教員の交流をさらに深めて、6年間を見通した生徒の育成につなげていくことができないかと、こういったものを広げていきたいというように考えております。一人ひとりの個性を重視し、また地域の発展にも貢献できるような人材育成につなげていきたいと考えておりますというように答弁をしております。

そして、もう1点。再質問の中で、中高一貫教育の取組みを、ほかの中学校や高校に広げていくのかというようにご質問ですけれども、まだ始まったばかりで、どういった状況なのかわからないものですから、状況を把握しながら、愛知県、それと市内の高校と情報を共有しながら検討を続けていきます。ただ、今回の取組みの中で、中学校と高校の連携というのは、非常に有意義なものだということを感じておりますので、中高一貫教育という形にはこだわらずに、こういった連携意識は広げていきたいというように考えております。

そして、最後ですけれども、田原市学校教育振興計画の進捗状況と中間見直しの考え方というところで、今、私どもの評価として、教育研究や授業研究の活発化、学びのみかた非常勤講師の配置、ふるさと学習の推進など、こういったものは着実に進んでいると捉えております。それ以外にも、英語教育やスクールソーシャルワーカーの複数配置、トイレの洋式化などは想定よりも進んでいると思っております。ただ、教員の多忙化解消や新しい学習指導要領への対応など、新たな取組みも必要になっておりますので、中間見直しを行ってまいりますというように答弁をしております。

そして、最後に、これからの学校教育に向けての展望ということで、これは教育長がお答えをしております。各学校では、地域の方の協力を得ながら、ふるさと学習の実践が進んでいる。新しい学習指導要領については、スピード感を上げて対応していきたい。ふるさとの価値や資源に今まで以上に目を向け、地域や学校の特色に応じた学習を発展させ、学校が地域活性化の核になれるよう進めていく。このような答弁をしております。

6ページに進んでいただきまして、7番の太田議員からは、渥美地域の人口減少が非常に激しいということで、それについての質問がございました。

その中で、再質問、二つ目の枠に書いてありますけれども、特に岬地区で伊良湖小学校と堀切小学校が廃校になった。こういったことになると、地域コミュニティの核が失われ、さらに人口減少が進んでいくのではないかと質問がございまして、これは企画部が答えたの

ですけれども、小学校が地域コミュニティにとって重要な役割を担っているということは認識している。廃校後についても、市民館など、そういったところから、人口減少につながっていかないように地域とも連携しながら取り組んでいきますという答えをしております。

8番目、赤尾議員ですけれども、新規就農者が参入しやすいような取り組みができないかという質問でございました。

7ページをご覧くださいまして、9番の小川議員です。

定住・移住人口の拡大の取り組みについての質問がありまして、その中の三つ目です。大学等へ進学を機に市外に出ていった若い世代を本市に取り戻すことができないか、呼び戻すことができないか。こういった質問につきましても、これは同じく企画部からの答えです。「また」のところで、東三河のブランドイメージの確立や、情報発信などによるU・I・Jターンの取り組みを進めていると。教育の面でも、ふるさと学習を推進して、地域の良さを体感してもらって、郷土愛を育むことによってU・I・Jターンにつながっていくのではないかということをお答えしております。

最後に、杉浦議員は渥美半島のテロワールということで、風土を活かした観光施策についての取り組み、こういった質問がありました。

こういった10人の方からの一般質問がございました。私からの報告は以上とさせていただきます。

教育長職務代理者

ただいま事務局の報告がありました、田原市議会第4回定例会一般質問について、ご質問等はございますか。

それでは、ご質問もないようですので、次に（3）田原市成人式についての報告をお願いします。

生涯学習課長

それでは、生涯学習課からお願いいたします。

委員の皆様には、先だっでご案内を差し上げましたけれども、本日、再度のお願いでございます。

来たる1月13日日曜日午前10時から、田原市総合体育館のアリーナで平成31年の田原市成人式を開催いたします。

式典の内容につきましては、例年と同じように、午前10時から40分ほどの式典。その後、新成人の記念撮影等を行いまして、正午過ぎまでの事業となっております。

今、新成人については取りまとめを行っておりまして、こちらには昨年の新成人の対象人数ということで載せてございます。838人程度ということで、今年はこれよりも若干少ないかなというところでございます。市外に行かれている方でも、こちらの出身者の方には声かけをしたりして、なるべくたくさん出ていただきたい。せっかくですので、新成人の記念に残るようなものになったらいいかなというように企画をしておりますので、ぜひ、ご出席をお願いしたいと思います。

以上です。

教育長職務代理者

ただいま事務局から報告がありました、田原市成人式について、質問等がございましたらお願いいたします。

スポーツ課長

それでは、質問もないようですので、次に、(4) 第58回中部・第48回北陸実業団対抗駅伝競走大会の結果について、報告をお願いします。

スポーツ課です。よろしくお願いいたします。

表になったものが3枚添付してございますけれども、1枚目が中部実業団、2枚目が北陸実業団、それから3枚目が高校生、大学生の部の結果でございます。

実業団駅伝でございますけれども、下呂市から移りまして、田原市での開催が今年で7回目でございます。

これまでの大会は、伊良湖岬を出発して、片道コースということでしたけれども、今度は新たに、はなとき通りをスタートして、保美の信号交差点まで行き、折り返し、ゴールがまた同じはなとき通りということで、完全往復コースに変わりました。当初、いろいろな問題が出るのかなと心配しておりましたけれども、事故等もなく大会が無事終了できましたものですから、よかったと思っております。また、走路補助員とか、そういった多くの皆さんに協力していただいたおかげで大会も無事開催されました。

それでは、結果を説明させていただきます。各表、チーム名、選手の名前等が書いてありまして、上段が総合順位、下段が区間ごとの順位を表示しております。

まず中部実業団をみていただきますと、トップがトヨタ自動車ということで、5連覇を達成したということです。1区の藤本選手から、ずっと1位で完全独走という結果でございました。2位のトーエネックとも3分49秒差ということで、非常に速かったかなと思っております。

11月20日に、トヨタ自動車のニューイヤー駅伝への壮行会にも出ましたけれども、田原のトヨタが2015年、2016年と2連覇をして、その後、旭化成に阻まれ、今回、旭化成が3連覇を目指しているということで、ぜひともそれを阻止して、ニューイヤー駅伝の優勝を狙っているそうですので、非常に楽しみです。

北陸実業団のほうですけれども、ご覧のとおりYKKが1位ということです。

3枚目につきましては、やはり皇學館大学は、大学生ということで非常に早い。東三河高校選抜も3位ということで、高校生の中では非常に頑張ったのかなと感じております。

あと、今回で最後になるわけですが、スタート前に伊良湖岬中学校に太鼓の演奏もしていただいて、大会も盛り上がったかなと思っております。以上です。

教育長職務代理者

ただいま事務局から報告がありました、第58回中部・第48回北陸実

スポーツ課長

業団対抗駅伝競走大会の結果について、ご質問等がございましたらお願いいたします。

それでは、ないようですので、次に、(5) 第13回愛知県市町村対抗駅伝競走大会の結果についての報告をお願いいたします。

続いて、同じスポーツ課から説明させていただきます。

第13回愛知県市町村対抗駅伝競走大会ですけれども、今年12月1日に行われました。例年、12月に入ると寒い時期が続いておりましたけれども、今年は、非常に暖かい中で開催されたかなと思っております。東海テレビでも生放送されて、ご覧になられた方も見えるかと思っておりますけれども、成績をお伝えしたいと思います。

まずレース展開ですけれども、田原市は最初7位で来て、その後、19位まで落ちたのですけれども、非常に選手の方に頑張ってもらって、特に5区の吉居選手、こちらの表も見てくださいと、区間でも第1位ということで、8位まで押し上げてくれました。その後、順調にいきまして、最後、アンカーの森選手、トヨタ自動車の若手の選手の方なのですけれども、最後は接戦で6位まで押し上げることができました。

行ったメンバーもバスの中で非常に仲良くなって、そこで選手同士が、会うのが1年ぶりだねとか、そういった声も聞かれて、非常に和やかな雰囲気で行くことができました。当初、目標は3位以内を目指しておりましたけれども、6位で、選手としては満足のいく成績ではなかったかと思いますが、私としては立派だなと感じております。

以上です。

教育長職務代理者

お疲れさまでした。

ただいま事務局から報告がありました、第13回愛知県市町村対抗駅伝競走大会の結果について、質問等がございましたらお願いします。

質問等がないようですので、次に、(6) 第67回渥美半島駅伝競走大会の開催について、報告をお願いいたします。

スポーツ課長

続いて、第67回渥美半島駅伝競走大会についてご説明させていただきます。

まず主催は、渥美半島駅伝競走大会実行委員会並びに東三河陸上競技協会です。共催が、豊橋市、豊橋市教育委員会、田原市、田原市教育委員会、中日新聞社が行っております。

期日につきましては、来年2月10日日曜日。3部に分かれておまして、高校男子の部、一般の部が12時スタート、高校女子の部が12時10分スタート予定です。

なお、開会式、閉会式につきましては、豊橋南高校で開催予定です。

参加予定チーム数は150チームとなっております、12月15日土曜日に締め切りを行いました。現在出ている数ですけれども、高校男子の部が56チーム、一般の部が11チーム、高校女子の部が27チームという

ことで、合計で94チームの参加があります。

コースでありますけれども、1枚めくっていただきますと、コースマップを添付してございます。昨年までは、男子のコースは、赤羽根市民センターをスタートして、最後、豊橋のほう若干違うところを通るのでありますけれども、豊橋南高校がゴールでございました。

豊橋方面で大渋滞が発生するというので、今回赤羽根市民センターから若戸市民館まで若干コースが延びております。

男子は、ブルーで表示したところを通っていくコースとなっております、まず若戸市民館東をスタートしまして、1区が7.2キロメートル。中継所でございますけれども、高松市民館を利用させていただきますと、2区が4.5キロメートル。続いて、赤松公民館でたすき渡しをして、3区の選手が3.5キロメートルを走りまして、東部市民館まで行きます。東部市民館から、今度は4区の選手が城下給水所までの5.3キロメートル。残りは、5区の選手が5.4キロメートルで豊橋南高校まで行くというコースでございます。

また、女子の部につきましては、赤いラインを通っていくコースとなっております。

あと、非常に多くのボランティアの協力が必要ということで、実は昨日、コミュニティの皆様方に協力をお願いにまいりました。快くお受けしていただいて、これでは人数が少ないので、もっと協力をするとか、そういったご意見をいただいて、非常に地域としても大会を盛り上げていきたいような感じがして、市としても、できましたら休止前の伊良湖岬先端から技科大までたどり着く、そういった本当に渥美半島を縦断するようなコースへと導いていきたいと思っております。ぜひとも、寒い時期の2月10日ですけれども、委員の皆様におかれましては、お近くで選手への声援等をしていただけると幸いですと思っております。

以上です。

教育長職務代理者

ただいま事務局から報告がありました、第67回渥美半島駅伝競走大会の開催について、質問等がございましたらお願いいたします。

ご質問もないようですので、以上で報告事項を終わります。

教育長職務代理者  
教育総務課長

次に、その他ですが、事務局から何かございますか。

先に教育総務課から、次回の教育委員会の日程等もございまして、お配りさせていただいた日程案で、お話をいたします。

来月の教育委員会の予定が1月21日月曜日。年が明けますので、第1回定例会の形で午後1時半から開催いたします。またご案内を1週間前に告示という形でさせていただきますので、よろしくお願いたします。

それから、もう1点。まだ予定ではありますが、その後の2月の第

2 回定例会の予定も先に入れておいていただきたいということです。下から 2 番目に、2 月 18 日、東三河小中高連携の会議が東三河で、教育長と金田委員にございますが、午前中の 10 時から教育委員会を開きたいというような予定をしております。現在教育総務課で策定中の田原市学校未来創造計画の計画案を、検討委員会が教育委員会に答申をしたいということで、教育委員会を始める前に答申を行って、そのまま教育委員会ができればと思っています。その日、金田委員は終わったらすぐに出張になりますが、ご予約をさせていただきます。また正式に決まりましたら、ご案内もさせていただきますと思います。

教育総務課からは以上です。

学校教育課長

すみません。学校教育課からですが、今、提案いただいた日程の中の 2 月 2 日に、小学校の音楽会がございます。また、この会が終わった後に、午前、午後、1 日と、出席していただけるかどうかを確認させていただきますので、お願いをします。

それと、学校教育課からは、「渥美半島アクションウィーク保護者アンケートのまとめ」というものが間に合いましたので、出させていただきます。11 月 19 日月曜日から 23 日金曜日まで、今年度のアクションウィークということで、スマートフォンやゲームから離れて家族の絆を深めようという週間。今年度は、チラシをつくって地域に回覧をさせていただきます。そして、実施後、一部の保護者の方ですが、各学校にお願いをしてアンケートをとらせていただきました。

ざっと見ていただきますと、好意的によかったという意見。それから、全部だめというのは困る、ニュースは見させてとか、1 週間というのは長いとか、曜日を決めて 1 年間やったらどうかと、いろいろな意見がございますので、またこれを次回の校長会にも示しまして、先ほどありました学校教育振興計画の中間見直しがありますので、その中で、来年度、回数をどうするのかとか、形をどうするのがいいかというようなことを、話し合っ決めていきたいと思います。また見ていただいて、ご意見をいただければありがたいと思いますので、よろしくお願いをします。

以上です。

教育長職務代理者

ただいまの報告について、質問等ございましたらお願いいたします。

特にないようですので、委員の皆さんから何かございましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。

それでは、以上で本日の議事は全て終了しました。ご協力ありがとうございました。

これをもちまして、田原市教育委員会第 12 回定例会を閉会とさせていただきます。

閉 会 午後4時23分

(会議録署名人)

教育長

委 員

委 員